



人事院勧告説明会が開かれた



8-9 日にかけて、使用者側より教職員に向けて人事院勧告の説明会が行われた。僕も 9 日の黒髪地区説明会に参加してのだが、なんともがっかりな内容であった。

大迫理事、前田人事課長より人事院勧告の説明とこの勧告に対する大まかな姿勢が話された。しかし、この説明会は前回の組合との労使協議のものとは全くの進展のないものであった。「人事院勧告に従うしかないだろう」「人勧のラスパイレス指数の求め方に問題もあり、大学職員の給与は他省庁に比べると低いのもわかるが、一概に民間と比較することは難しい」であった。また、「自分達で民間平均給与の調査をするべきだ」の発言にも「自分たちには民間の平均給与を調査する機関がないので、独自に調査することは難しい」など、自分達が大学で働く教職員へ理解が得られる説明をする義務や大学を経営する立場であることを自覚してほしいという場面も見受けられた。組合側からは「県や市の人事労務委員会が作成した資料などをもとに民間との賃金格差を検討してみても」という発言もあったが、ちゃんとした回答はありません。

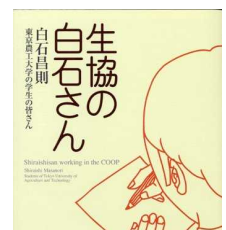
今回の説明会の内容は「今更なんだ」という感じであった。こんな内容なら別に 11 月にやらずとも、もっと前にできたのではないか??。閣議決定した後ならすぐに、教職員へ説明会はできたのではないだろうか??。12 月 1 日付けで給与改定を行いたいのであれば、もっと迅速な対応が必要ではないか。このような説明会の内容で残りの一ヶ月、組合との交渉や教職員に対して、納得のいく説明義務を果たすことができるのであろうか。今回の参加者には、組合員以外の教員や事務職員、技術職員も多くきていた。組合の人間だと交渉等に出ているので、使用者側の不誠実さに憤りを感じるのですが、参加した皆さんはどう思われたでしょうか。あんな説明で今後の給与を決められてもいいものなのでしょうか。

今年度組合は独自の賃金闘争に取り組むようです。皆さんも他人事と思わず関心を持って、説明会や組合の学習会などに参加してください。

編集者のぼやき

うえでもぼやいていたから、今回は久々に新しいもの紹介してみようかな。って本です。「生協の白石さん」この本が面白い。「単位を売って」「波動拳の威力は??」など、東京農工大の学生が生協の質問箱への投稿に対して、生協の職員である白石さんが真面目にお答えしているという話。まあ、このやり取りがおかしく、ネットやテレビなどで取り上げられたということもあって単行本化したようで、現在売れ行きは好調のようです(1,000 円税込)。本を買う前にどのような質問があったか等を調べたい方は、インターネット検索で「東京農工大 生協」と調べ、

農学部 SB 店舗をクリックすると、工学部購買書籍のところ白石さんの回答があります。ほかにもいろんな方が回答しているので見てみてから購入してみるといいですよ。



牛を置いて!

「牛は売っていないのだから?」「種別が決められていない」
そんなコミュニケーションもめんどくさい。種別を指定して欲しい。
白石さんのお返事。ひらきかた。この本は、生協の職員が質問箱に寄せられた質問に答えている。白石さん、ありがとう。

さて、明日はこぼと保育園のバザー。バザーの様子はまたやまくら ~ ズで報告します。ただ天気が怪しいな…。

熊本大学教職員組合青年部機関紙
やまくら ~ ズ 発行 No.15 2005/11/10